

起因物、事故の型：その他の環境等 - 激突されの死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	11~12	育成牛舎において除糞作業を行い、作業終了後、牛を通行止めにしていたものをはずしてまとめていたとき、後方より牛が接近し、柵側に強く押されたため、鉄柵で胸を強打した。	73	70101	1~9
1	14~15	屋外にある脱水機を調査中、右側方にある屋根から雪が滑り落ちてきた。道路上に落ちたがその滑り落ちてきた勢いは止まらず、約30cmの厚さで約15m離れた被災者まで流れ、右ひざ側面を直撃し被災した。	49	30302	10~29
1	7~8	地下道通路において、調教終了後の帰厩の際、護馬が突然走りだし、その近くにいた他馬に左足首を蹴られ、同部を負傷した。	35	70101	10~29
1	15~16	馬房内において、馬房内清掃中、該馬が突然暴れて追突し、左鎖骨部分を強打し負傷した。	40	70101	1~9
1	5~6	厩舎洗い場で4才馬の手入れ中、馬が暴れて立ち上がり、脚で頭部を叩かれ頭と顎を受傷し、救急搬送された。	57	140309	1~9
1	6~7	当法人の認知症対応共同生活介護事業所内において、入居者のトイレ誘導作業中、ホールから「助けて」という悲鳴が聞こえたので駆けつけたところ、男性入居者（認知症、要介護2）が女性入居者を殴りつけようとしていたため、止めようと間に入った際、男性に顔を拳で殴られ左目を負傷した。	45	130201	30~49
1	7~8	牛の出荷作業中にロープを引っ張って移動させようとした際、嫌がった牛が右側から当たって来た為、反動で反対側の柵に衝突した。	55	70101	10~29
2	15~16	馬房内において仔馬の手入れ中に母馬が威嚇してきて左耳を?まれた。耳	19	70101	100~

		上部表面2cm、耳裏4cmの裂傷を負った。			299
2	14~15	競馬場自厩舎洗い場で2才馬を洗い場にいれる際、同馬が足を滑らせ転倒し、立ち上がる時に同馬の右前足で左足を踏まれた。その後も痛みを我慢しながらも治ると思い仕事を続けていたが馬のレントゲン時に一緒に検査してもらったところ骨折していたので後日に受診した。	36	70101	1~9
2	15~16	放牧地にいる繁殖馬を収牧する為に、放牧地の中に入って行ったところ、後から走ってきた繁殖馬が横を通り過ぎた時に、急に左足で顔面を蹴られた。	62	70101	10~29
2	20~21	弊社牛舎内ロータリーパーラーにおいて業務中、暴れる牛に装着するキックガードを取り付けるため、一度後ろのポールに立て掛けた際にそのキックガードを牛が後ろ蹴りにしたので被災者の顔面に当たり負傷した。	38	70101	50~99
2	9~10	繁殖豚舎で豚の交配中、雄豚が雌豚から離れた時、右側頭部に当たった。	30	70101	—
2	10~11	馬房内で馬にハミを付けようとしたところ馬が突然向きを変えて左背中部分を蹴られた。馬の左側からハミを付けようとしたところ、馬が時計回りに向きを変えた為危険を感じ、とっさによけたつもりだったが、一瞬の出来事だったのでよけきれず蹴られた。	65	70101	10~29
2	10~11	馬運動場において取扱馬の曳き運動中、該馬が目の前にいたを物見して驚いた際に右胸部を蹴られ、同部を負傷した。	38	70101	10~29
2	11~12	牧場内トラックコースにて、暴走している馬を止めようとした際、その馬に衝突された。	49	70101	30~49
2	6~7	厩舎廻りの運動道で3才馬の引き運動中、馬が暴れて腰を蹴られ救急車で病院に搬送された。	67	140309	1~9
2	13~14	3才馬7レース出走のためパドックで、騎手を乗せようとした時馬が暴れて尻はねした時右大腿部を蹴られた。	17	140309	1~9
		施設内で興奮状態の利用者様を対応している時に背中側に作業で使用し			

2	13~14	ている机がある状態で、利用者様に突き飛ばされ背中側にあった机で腰をぶつけ、後ろに倒れ込み、右手で支えようとしたら、右手首を捻ってしまった。	23	130201	10~ 29
2	6~7	3号厩舎内の18馬房において、担当馬の馬糞を処理中に突然暴れだし、その時に左ひざを蹴られ負傷した。	67	70101	1~9
2	10~11	自社農場内において、出産予定日の豚をストール舎から分娩舎へ移動作業中、豚が暴れ、豚のお尻で柵（高さ約80cm）に左手を押し付けられ負傷した。	39	70101	1~9
3	8~9	自社農場で牛の出荷作業のため、牛をトラック荷台に載せる作業中、牛がトラック荷台から逃げようと向かってきたため体で阻止したところ、牛が頭で激突し突き飛ばされ、トラック荷台反対側の壁の鉄部分に腹部を強打し負傷した。	36	70101	10~ 29
3	18~19	ヘルパー出張先の牛舎で搾乳作業中、暴れる乳牛の頭を固定しようとした際に、乳牛の頭と柵の間に右手小指が挟まった。	59	170209	10~ 29
3	3~4	馬房内において取扱馬の運動準備中（装鞍中）、該馬に突然蹴られ、顔面を負傷した。	47	70101	10~ 29
3	10~11	競馬場装鞍所において、レース出走馬の馬装具点検中に準備運動で周回中の馬に横を追い抜かれざまに左腕を横蹴りされ受傷した。	60	140309	100 ~ 299
3	10~11	馬房を掃除する間に繋いでおくために、馬を洗い場に連れてきて、方向転換する際に右足を踏まれ小指を骨折した。	66	140309	50~ 99
3	13~14	1.5tトラックにて商品の自動車タイヤを納品先へ納入の際、トラックの後方のおおりを下さずに自動車タイヤを取るために右手を伸ばした時、強風でトラック後方の幌が自身に勢いよく被さってきて、その勢いでトラック後方のおおりの縁にわき腹を接触し、接触部分の肋骨1本を骨折した。	57	170101	100 ~ 299
3	9~10	取扱馬の曳き運動中に該馬が突然暴れ、右脇腹を蹴られ、同部を負傷し	39	70101	10~

		た。			29
3	12~13	牧場内の分娩房にて牛を捕獲する作業時に、牛が腹部に突進して来たため、分娩房の扉の鉄のバーを背に挟まれ、腹部を圧迫し、腎臓を破裂損傷した。	48	60101	1~9
3	13~14	育成舎のふん掃除を行っていた際、若雄豚の豚房を掃除していたところ、じゃれてきた若雄豚の牙で右ふくらはぎ内側に幅5~6cmの切り傷を負った。	54	70101	50~99
4	11~12	馬の調教中、急に馬があばれて馬の首に右手首をぶつけて負傷右橈骨遠位端骨折をした。	33	70101	1~9
4	15~16	放牧地で収牧中、仔馬がゲートに突っ込み、外れたゲートに巻き込まれて倒れ、頬・左手首・後頭部を負傷した。	39	70101	30~49
4	6~7	事業主牛舎にて子牛の熱を測っていたところ、他の牛が暴れて右手首を蹴られて受傷した。	57	70101	10~29
4	9~10	装鞍所にて、馬体照合をするため馬に近づいた時、馬が暴れ装鞍所の壁で馬の胴体に挟まれ圧迫され、骨盤を骨折した。	64	140309	100~299
4	16~17	馬洗場において取扱馬の手入作業中、該馬が突然立ち上がり、前脚が引き手に絡まった為、それを外そうとした際に該馬の下に巻き込まれ、後ろ脚で顔面・左胸部・頸部を踏まれ負傷した。	59	70101	1~9
4	14~15	馬の積み直し作業を行っている際に、馬が暴れて接触し、左肩を損傷した。	24	40302	50~99
4	11~12	ロータリーバーラーで2回目の搾乳が終わり、牛舎に返す際、牛に近寄ったところ、右太ももあたりを牛に蹴られた。	40	70101	100~299
4	13~14	レース発走のため競走馬をゲート内へ枠入れ作業中、当人が競走馬の後方より馬具を使って促していたところ、競走馬が不意に後退して蹴り、当人の右肘に当たり負傷した。	26	170209	30~49

4	7~8	牛舎にて仔牛にミルクをあげる作業中、小屋1マスに仔牛2頭が入っていたため、移動させようとしたところ、牛に足の甲を踏まれた。	46	70101	50~ 99
4	7~8	馬運動場において曳き運動中、該馬が突然走りだし、該馬に右腕に突進され、右肩部を捻った。	50	70101	10~ 29
5	9~ 10	観賞用展示場にいるアルパカの患部（皮膚病）洗浄・薬塗布のため、3人で頭と後足を分担し、被災労働者はアルパカを横に倒して後足を押さえていたとき、アルパカに蹴られ左足を打ち、左足付け根剥離骨折および膝上打撲を負った。アルパカを横倒しにした時には周囲の物音や不意な状態は発生せず、嫌がって暴れたものである。	66	80209	30~ 49
5	9~ 10	場内の種付所にて、種付を行うための準備中に繁殖牡馬の後肢の後ろに、マットを置いた際に繁殖牡馬が左後肢で蹴り頭部を蹴られた。繁殖牡馬の足にはクッション性の靴を履かせていた事と、本人もヘルメットを被っていた為、外傷はなかったが頸椎を損傷した。	62	70101	1~9
5	17~ 18	利用者の個室に入り夕食を配膳しようとしたところ、突然利用者が激昂し理解不能な内容の事を叫びながら、介護職員の膝とすね全体を力強く蹴り、左膝と左すね全体を打撲した。	38	130201	50~ 99
5	10~ 11	1階外来廊下にて、検査誘導から外来へ戻る途中、椅子に座って自動血圧計で血圧を測定していた患者が急に真後ろに倒れてきたため体を支えたところ、患者が腹部にぶつかり受傷した。患者は内視鏡検査のため麻酔をかけていて麻酔が完全に冷めておらず、ふらふらした状態であった。	36	120109	500 ~ 999
5	3~4	自厩舎内、馬房内において飼葉付作業中、該馬がくるっと廻って突然蹴ってきたため、胸部（肋骨骨折）を負傷した。	55	70101	10~ 29
5	13~ 14	洗い場において、レッスンに使う馬匹に騎乗の為の装備を着けていた時、振り払った馬の後肢が右足甲に当たり負傷した。	21	140309	50~ 99
5	18~ 19	第8レースにおいて、ゲート内に馬が入った後に、ゲートの扉を閉めようとした際にゲート内にいた馬の後肢で、左足膝を蹴られ裂傷と打撲を負った。	45	170209	50~ 99

5	16～ 17	農場にてオス豚を移動させていたところ、豚舎の通路で豚が激しく転倒し、右足の太ももにぶつかってきて、豚の歯（キバ）で太ももを切った。	65	70101	10～ 29
5	16～ 17	保育園2階テラスのトイレ前で、5歳児クラスの園児が排泄を済ませるのを待っている時、順番待ちをしている園児の頭部と、被害者の鼻がぶつかった。ぶつかった原因は、園児が跳びはねながら前進したのと、被災者がトイレ方向から園児の方へ振り向いたのが同時だったからと考えられる。	27	130201	30～ 49
6	6～7	親馬の後肢手入れ中、馬が少し嫌がる素振りを見せ、後肢を振り上げた。その際、馬の後肢蹄が太股内側に接触した。	21	70101	50～ 99
6	19～ 20	場内装鞍所において、11レースに出走する馬に馬具を装着していたところ、思いがけず左前足で左足親指付近を踏まれ負傷した。	31	70101	1～9
6	17～ 18	合同保育の際、畳に正座した状態で2人の園児を抱えていたところ、前方より1人の園児がぶつかってきて、後方へ転倒してしまった。	63	130201	30～ 49
6	11～ 12	保育園の遊戯場でぞう組（年長児）が、たる太鼓の練習をしていた時、太鼓のバチを振り回している子を制止しようとした職員の指に、その子のバチが当たってしまった。	22	130201	30～ 49
6	11～ 12	作業場にて、当日の作業内容を説明し、作業を開始した際、利用者様が説明と違う作業を始めた。再度、作業についての声かけを行うと、利用者様がフラッシュバックを起こしてしまい、職員に向かってスコップ及びバケツを投げつけた。その後も落ち着かず、休憩室に場所を移し、ほうきで肩・背中・腰を叩かれた。	38	130201	1～9
6	14～ 15	3病棟ホールにて、興奮状態の男性患者が歩行器で突進してきたため、両手で歩行器を止めたところ、左顔面を殴打され、おそらく数秒程意識を失った。左顔面は腫れたが、クーリングにて当日中には改善するも、翌日、殴打されたのとは反対の右側の頭痛、右上半身痛が起こり、痛み止めを内服し様子を見ていたが改善せず、骨折と判明した。	42	130101	100 ～ 299

7	16~17	馬房の中で、馬を捕まえようとした時に、馬が嫌がり暴れて右太もも当たりを蹴られて負傷した。	46	70101	10~ 29
7	18~19	牛を別の牛舎へ移すため、間違わないように牛の後足の足首に目印のためのテープを巻く作業をしていた。先に右足首にテープを巻きおえて、次に左足首に巻こうとしてかがんだ時に、牛があばれて左肩を踏まれた。	40	70101	10~ 29
7	11~12	学童保育クラブ室内で自由遊び中、ふざけて走り回る男子児童の肩に左手小指を強打すると同時に、児童の服に指が絡み引っ張られ、左手小指を骨折した。	57	160101	10~ 29
7	7~8	取引先である牧場にて、集乳作業を行っているときに、搾乳が終了した牛が牛舎に戻る進路からそれて、作業場所で作業を行っている作業員の方に来たため作業員が牛から逃げたが、逃げ切れず左肩にあたり受傷した。その後、治療をしたが、左肩の痛みが治らず、入院手術を行った。	58	40301	10~ 29
7	15~16	厩舎前において馬運車から降ろす際、該馬が物見し飛び降りその際左足第4・5指に着地され、同部を負傷した。負傷当日より痛さがあり我慢していたが翌日腫れが広がっているため、救護室にて診てもらい処置してもらい、骨折していると言われ湿布を貼って我慢した。	30	70101	10~ 29
7	12~13	レッスンに使用した馬を馬房に連れ戻す際、馬房入口付近で足を滑らせ体勢を立て直そうとあがいた馬の後肢の蹄が腰に当たり負傷した。	59	140309	50~ 99
7	1~2	牛〔350kg〕をパドックからパドックへ移動するため、車に乗せようとして後から追っていたとき、牛に蹴られ、右足脛を打撲した。休業見込み3週間	38	70101	10~ 29
7	17~18	広場にて、ラグビーの練習中、相手と接触した際相手の膝が股間に当たり睾丸を負傷した。	26	80109	50~ 99
7	10~ 11	牛舎内のパーラーで牛の検査作業中に、パーラーから勢いよく出てきた牛と柵の間に右腕を挟まれ骨折した。	21	70101	10~ 29
		植物園内の小屋付近の藪にて、軍手を着用の上草抜き作業をしていた			

7	10～ 11	際に、草を抜こうと草藪に右手を入れたところ、急に痛みがあり右手甲にスズメバチが止まっていて、急いで振り払ったが軍手の上から刺されてしまった。皮膚科にて薬が処方され薬局にて受け取った。薬服用後、腫れは一端治まったが、数日後に再度腫れ、腫れと熱があったため、治療を継続した。	42	120109	1000 ～ 9999
7	9～ 10	出入り口付近にて乳用牛をパドック内から草地へ放牧作業中、複数の乳用牛が突如暴れ出し、被災者に向かって走り出したため、パドック外側へ逃げようとしたが間に合わず乳用牛に突き飛ばされ、頭部をパドック柵へ打ち付け、頭部、首、胸部などを負傷した。	66	170209	50～ 99
7	8～9	馬に騎乗中、前の馬が人馬転し、倒れてきた馬が左膝付近にぶつかった。	37	70101	100 ～ 299
7	15～ 16	体重計測の為親子で馬を引いていたところ強風に仔馬が驚き走り出した為、親が急に暴れ頭部と胸部を後肢で蹴られる。	48	70101	30～ 49
7	15～ 16	作業現場において、チェーンソーで鬱蒼としたシダ繁茂地を伐開していたとき、視界が悪く、蜂の巣に気付かず、蜂に刺激を与えたため襲われて被災した。被災者は、スズメバチに上半身を12～13ヶ所刺された。	59	60209	10～ 29
7	16～ 17	レース開催中（4レース）ゲートに馬を引き込み、馬が立ち上がり降りたときに、馬の脚が被災者の足に当たった。	50	140309	1～9
9	13～ 14	畜産試験場養豚エリア繁殖豚舎において、繁殖雌豚の発情確認作業のため、雄豚一頭を誘導し、繁殖豚舎の雌豚房に面した通路で雄豚を後から追いながら歩かせていたところ、雄豚が突然旋回し向かい合う態勢となり、豚が前進しすれ違う際に、豚が頭をしゃくりあげ豚の顔が右足に当たった。右足のひざの内側が裂傷を負っており出血も激しかったため、職員の運転で病院へ行き、傷の縫合及び抗生物質投与等の治療を受けた。	53	120109	100 ～ 299
9	8～9	哺育舎から育成舎への仔牛を移動させる為に仔牛7頭を6人で追っていたところ、牛に蹴られて転び、転んだところを牛に踏まれこの災害となった。	38	70101	1～9

		た。			
9	9~ 10	牧場にて右膝をついて踵を浮かせた状態で牛を削蹄中、牛が倒れてきたので逃げようと腰を浮かせた際に、右ふくらはぎから踵に牛が倒れ下敷きになった。	47	70101	—
9	13~ 14	出走馬に騎乗、発走後コーナー付近において同馬が馬体故障を起こして転倒し、落馬した際に同馬に一瞬乗られて負傷した。	21	70101	1~9
9	15~ 16	自厩舎内、馬房内において糞拾い作業中、該馬が物音に暴れ尻を向けて蹴ってきたため、右足（右股関節部）を負傷した。	59	70101	10~ 29
9	5~6	バイクで朝刊を配達中、畑の中の道を走行中、イノシシが飛び出して来て横腹にぶつかり、股関節付近を骨折した。	47	80205	10~ 29
9	9~ 10	当社駐車場内の資材置き場で荷物を積み込むために、トラックの後ろ扉を開けようとしている時に突風が吹き、後ろ扉に押し飛ばされ、横に積んであったパレットに脇腹をぶつけ、負傷した。当日は打撲程度の痛みだった。	62	40301	50~ 99
9	11~ 12	会社で使う馬を仕入先牧場へ見に行き馬の品定めをしている途中、馬にまたがった途端、急に暴れ出して負傷した、呼吸困難になり、救急車で病院へ搬送、入院となった。	38	140201	10~ 29
9	5~6	調教前の乗り運動中に雨が降ってきたので、鞍に合羽を付けるために洗い場に馬を入れ、降りた時にホースが足に絡み転倒し、その音に馬が驚いて暴れ右足のふくらはぎを踏まれ負傷した。	55	70101	1~9
9	4~5	外灯の無い暗い市道を原付バイクで新聞配達中、進行方向右側の山より突然大きな雄鹿が飛び出して来て避ける間もなく衝突、はずみで右側の山に突っ込む、幸い転倒は免れたが、右足関節外果骨折する。	67	80205	50~ 99
10	6~7	馬が急に暴れ、左膝を蹴られた。その際、脱臼してしまった。	41	70101	100 ~ 299
		就業場所牧場の牛舎で搾乳を終えた牛の移動をしていた。牛舎内で牛の			

10	8～9	誘導をしていたところ、急に牛が団体で走り出したため、避けきれずに牛舎のH型鋼と牛との間に体が挟まれてしまい負傷した。	48	70101	1～9
10	9～10	一歳馬の調教中、坂道の入口付近で被災者を乗せた馬を中央にして、3頭併せて調教していたところ、右側にいた馬が暴れて、その蹴り上げた脚が被災者の右膝に当たった。	41	70101	10～29
10	16～17	馬房内で当才馬の蹄の裏掘り作業をしていたところ、左後蹄の裏掘りを終えた時に後肢で左頬を蹴られ頬骨骨折。	58	70101	30～49
10	3～4	動場において曳き運動中（左側）、該馬が突然暴れ踏まれ、右足（全体特に小指付け根を強く踏んだ）を負傷した。	59	70101	10～29
10	8～9	牛の出荷作業中、小屋の中にいた4頭のうちの1頭が動いているうちに当たってきて、柵と牛に挟まってしまい負傷した。	68	70101	100～299
10	8～9	当競馬場、当厩舎付近を、（牝2歳）の引き運動中、同馬が何かに驚き急に暴れた際に、右腕、右大腿骨を蹴られる負傷をしたものである。	47	170209	1～9
10	13～14	検温のため、ベッドで寝ている患者の足元から近付いた際、患者に右手の甲を蹴られた。	70	130101	100～299
10	5～6	運動道で3才馬の乗り運動をしている時、馬が何かに驚いて立ち上がり落馬したところに馬が乗り、腰を受傷した。	32	140309	1～9
11	15～16	放牧地で繁殖牝馬のひき運動中、馬が暴れぶつかって来て、本人が倒れ右肩を負傷した。	65	70101	30～49
11	14～15	集牧して厩舎に入れる為に手綱を持って歩いていたところ、馬が暴れ自分の後ろ側に回って後ろ脚を蹴り上げた為、背中に後脚が当たり背中を負傷した。	31	70101	10～29
11	6～7	朝の調教の為、装鞍所において馬（牝、2歳馬）の調教を始めようと馬場に入ろうとしたところ、同馬が暴れて馬場管理棟の柱にぶつかった際に左足を負傷した。	35	70101	1～9

11	9~ 10	工場仕上げ場で、被災者が一人で鉄骨加工品仕上げ作業を行っている最中に発生した。二段に重なっていた鉄骨加工品の上段の加工品を手前におろす際に、手で持ち上げたが重さに耐えきれず急いでおろした為、下段の加工品とおろした加工品の間指を挟んでしまった。鉄骨加工品、H形鋼200×175×7/11t×990L (43kg)	35	70101	1~9
11	11~ 12	ホテル調理場内にて、デシャップ台（完成した料理を配膳前に一時的に置く台）付近の段差に躓き転倒した。その際に最初にデシャップ台にぶつかり右顔面を打ちつけてしまった。前日に調理場内の床面清掃を行い台が通常時に比べ位置が違っており、そのために、感覚が変わって、躓いてしまったようである。翌日になっても痛みが引かなかったために受診した。その後、1週間後に受診し、翌月は通常勤務を続けたが、右手に痺れが出るなど、違和感を感じ、翌々月に受診し痛みが続いていることを伝えた。	34	70101	1~9
11	11~ 12	南病棟廊下で尿測に行こうと廊下を歩行中、前を歩いていた看護師が急に振り向き、ぶつかり被災者だけが転倒した。	56	130101	100 ~ 299
11	23~ 24	納品作業中の店舗で空台車を回収作業している時、突風にあおられて台車が倒れて来た為、台車が右足に接触してしまい、右親指を骨折してしまった。	47	40301	1~9
11	14~ 15	第15回競馬4日目第7レース発送後、厩舎に帰る坂道付近で、発送予定の馬とすれ違った際、興奮して立ち上がった時に転んで、ヘルメットを蹴られた時に負傷した。	50	70101	1~9
12	11~12	豚舎内にて豚を移動する作業をしているときに、豚の通路で豚と壁に足をぶつけた。	31	70101	1~9
12	10~11	被災職員は当日、一人でフリーストール牛舎の牛床に消毒用のドロマイトを散布していたが、背後から牛に背中を頭部で押されて倒れてしまった。その後、牛の頭部で体を1mほど前の方へ押されたうえ、左肩甲骨のあたりを前足で押された。隙を見て向かいの牛床へ逃げたが、鼻血が出	67	170209	50~ 99

		ており、左胸と左上1番の歯に痛みがあったので病院を受診した。			
12	14~15	乾乳牛舎内の掃除をする為、牛を外に移動作業中、牛に正面からぶつかられた様で、その後、牛舎内の通路迄逃げて来たと思われ、そこで倒れている被災者を他の従業員が発見した。本人から、牛にやられたと聞き、その後、意識がなくなり、搬送先の病院で死亡が確認された。	61	70101	10~ 29
12	14~15	牛舎にて、1人で牛の治療をしていて、ワクチン接種をした際、牛が驚いて体あたりするように倒れてきて、逃げきれず、左足が牛と地面の間に挟まれて左膝を負傷したものである。	29	70101	1~9
12	9~10	傾斜20°の造材現場で伐倒作業に従事し、アカエゾマツ（径20cm）を伐倒したところ、他の立木の枝にかかり伐倒木の方向が変わり、伐倒木の先端付近の枝が、退避中の被災者に当たり、押されるような形で負傷した。すぐに病院を受診し、捻挫の診断を受けたが、後日痛みが残るのでMRI検査を実施したところ、圧迫骨折のため安静が必要との診断を受けた。	69	60201	10~ 29
12	15~16	競走馬スイミングプールの馬プール出入口付近において、該馬の運動終了後、該馬が突然ぶつかってきた際、胸部、右脇腹を蹴られ負傷した。	43	70101	10~ 29
12	0~1	当日、夜間営業で、外国人男性客1名に乗車依頼を受けた。目的地に到着すると、9,900円の料金請求に応じてくれないので、防犯灯を遂行した。他のタクシー乗務員が近くの交番を教えてくれたので車を進めると、客車のドアを自分で開けたので危険回避のために車を止めた。停車と同時に運賃を支払わず逃走したので追いかけると、胸を一発、頬を二発殴られた。そのとき周りにいた5~6人が男を取り押さえ、駆け付けた警察官に引き渡した。その後、警察署にて調書を作成した後、病院にて検査を受けると、左胸部打撲、気胸の疑い、及び顔面打撲、口唇裂傷で全治3週間と診断された。	58	40201	100 ~ 299
12	21~22	牛舎内にて、乳牛に注射を打っているとき（ビタミン剤）、乳牛（乾乳中）の首を保定していたが、真後ろに立ってしまったため、牛に後ろ足で蹴られた。	31	70101	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html